

令和4年度 学校生活アンケート(児童) 集計結果

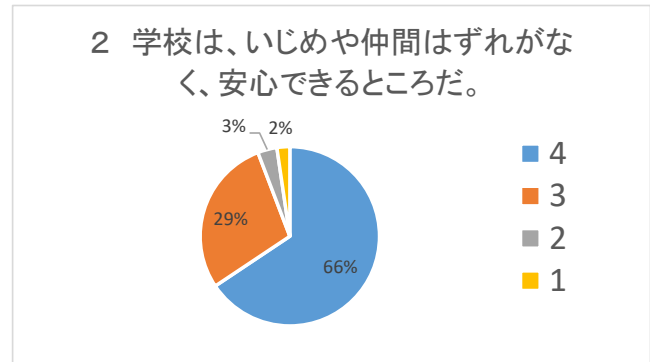
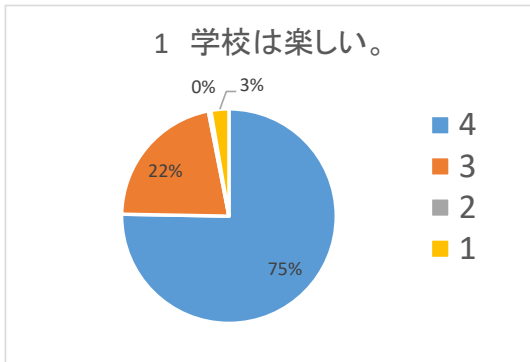
「4:とてもそう思う」「3:そう思う」「2:思わない」「1:全然思わない」

No.	質問項目	評価平均		
		R4 2学期	R4 1学期	増減
生 活	1 学校は楽しい。	3.7	3.6	0.1
	2 学校は、いじめや仲間はずれがなく、安心できるところだ。	3.6	3.5	0.1
	3 先生は、困ったときにいろいろ相談にのってくれる。	3.8	3.7	0.1
	4 先生は、私のよいところをほめてくれる。	3.7	3.6	0.1
	5 私には、よいところがある。	3.4	3.8	-0.4
	6 通学班の集合時刻や登校時刻を守ることができる。	3.7	3.6	0.1
	7 学校のきまりや約束を守って生活している。	3.6	3.6	0.0
	8 授業や活動の始まる時刻を守っている。	3.6	3.6	0.0
	9 むいだはき物のかかとをそろえることができる。	3.7	3.6	0.1
	10 机やロッカーの中の整理整頓をしている。	3.5	3.5	0.0
	11 自分からはっきりあいさつをしている。	3.5	3.5	0.0
	12 名前を呼ばれたら「はい」とはっきり返事することができる。	3.7	3.6	0.1
	13 時と場に応じた正しい言葉づかいができる。	3.7	3.6	0.1
	14 相手の気持ちを考え、やさしい言葉づかいができる。	3.6	3.5	0.2
	15 係や当番の仕事をしっかり行っている	3.7	3.7	0.0
	16 そうじをだまって、一生懸命している。	3.4	3.5	0.0
	17 教室や廊下は、整理整頓されている。	3.6	3.6	0.0
学 習	18 授業はよくわかる。	3.6	3.6	0.0
	19 学習の準備を整えて授業にのぞんでいる。	3.6	3.6	0.0
	20 授業中、先生の話や友達の意見をしっかり聞いている。	3.7	3.7	0.0
	21 授業では、自分の考えを発表したり書いたりしている。	3.5	3.5	0.0
	22 学習のねらいに対して、自分がどのくらい達成できたかを考えながら学習の振り返りをしている。	3.4	3.5	-0.1
	23 授業で学習したことを、生活の中で活用できないか考えている。	3.4	3.5	-0.1
	24 わからない問題などは、あきらめずにいろいろな方法で解けないか考えている。	3.7	3.5	0.2
	25 地域の勉強や地域の人との学習や活動は楽しい。	3.7	3.7	0.0

※ 数値の小数第2位を四捨五入している関係で、増減の値が、表記されている数値の差と異なっている項目があります。

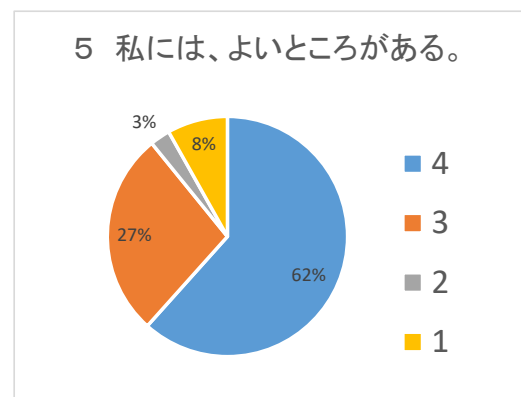
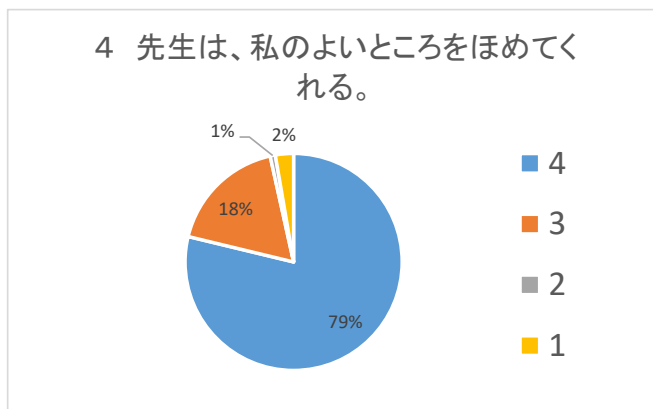
アンケート結果から

- 項目1「学校は楽しい」、項目2「学校は、いじめや仲間はずれがなく、安心できるところだ。」



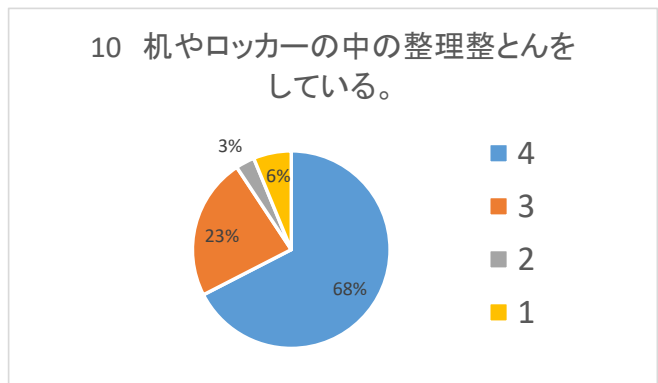
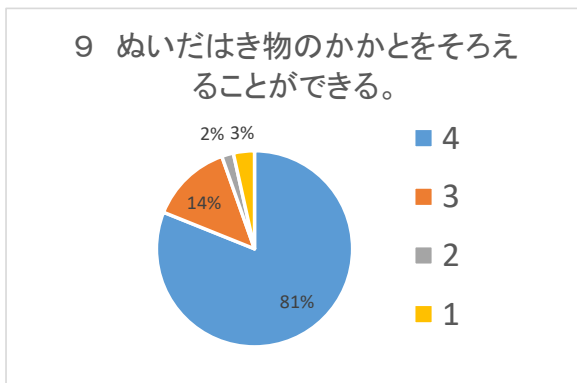
- ・ 全体の平均や割合よりも、「楽しくない」、「安心できない」と感じている児童に対して、個別に対応することを重視してアンケートをしています。
「1」や「2」の評価をした児童全員に対しては、各担任から評価の理由を聞き、解消のための指導・助言をしました。
様々な理由がありましたが、1学期のうちに指導や助言を行い、一人一人の悩みの解消に努めています。
いじめなどの問題については、発見したときはすぐにご家庭に連絡し、連携して解消に向けた対応をしています。

- 項目4「先生は、私のよいところをほめてくれる。」、項目5「私にはよいところがある。」



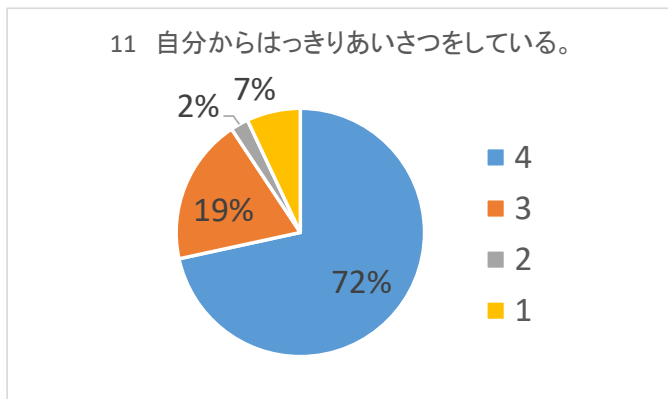
- ・ 児童は、担任や教科指導の教員との信頼関係が高まっている様子が見られますが、項目4「先生は、わたしのよいところをほめてくれる」が昨年度よりやや減少しています。私たち教職員は真摯に受け止め、児童に寄り添いながら今後も、児童の個性の伸長と、課題の克服や解決のため、一人一人に応じた指導を行っていきます。反対に項目5は、9割近い児童が自分のよさを実感しているようです。一人一人のもつよさそれぞれが実感でき、その力を発揮できるよう教職員は指導・支援を続けていきます。

- 項目9「ぬいだはき物のかかとをそろえることができる。」、項目10「机やロッカーの整理整頓をしている。」



- ・ 児童は、整理整頓する意識が高まっている様子が見られます。項目9と項目10の物の整理整頓については、昨年度よりやや増加し9割を超えています。整った環境の中で日々学習や生活できています。このような雰囲気や校風を大切に継続できるよう指導・支援します。

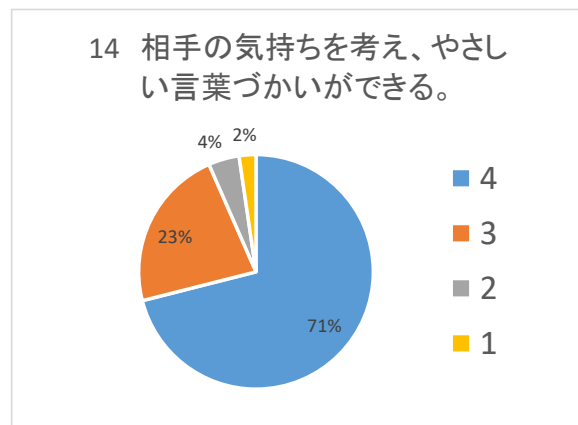
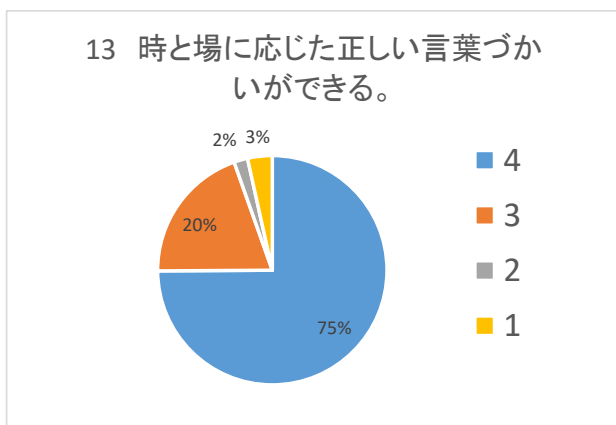
○ 項目11「自分からはっきりあいさつをしている。」



- ・ あいさつは、学校生活だけでなく、社会生活でも大切なことです。学校内だけでなく、登下校時に見守りをしてくれている地域の方々や保護者の方などに、自分からあいさつができるよう指導しています。

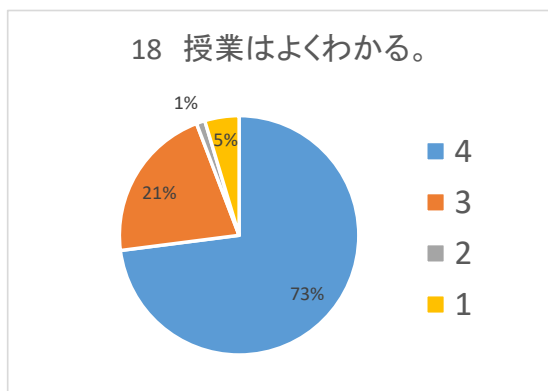
児童はあいさつをしている意識は高いのですが、相手に伝わっていないことも考えられます。声の大きさや会釈をする、相手の目を見るなど、相手に伝わるあいさつができるよう引き続き指導するとともに、今後の児童の変容に期待しています。

○ 項目13「時と場に応じた正しい言葉づかいができる。」、項目14「相手の気持ちを考え、やさしい言葉づかいができる。」



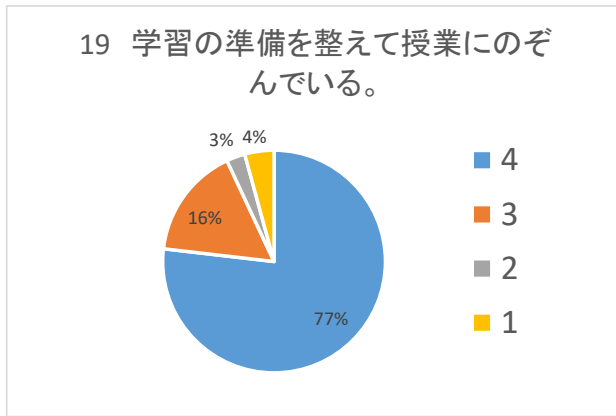
- ・ 児童は、「正しい言葉づかい」や「やさしい言葉づかい」ができている児童の割合が、どちらも増加しています。その反面、児童同士のトラブルの中で相手を傷つけてしまう言葉に悩んだり、悲しんだりする児童もいます。児童の言語環境は、教職員や保護者の言葉づかいが影響する場合があります。児童の身近な手本として、私たち大人が正しい言葉づかいややさしい言葉づかいで児童やお子さんに話しかけていかなければなりませんね。

○ 項目18「授業はよくわかる。」



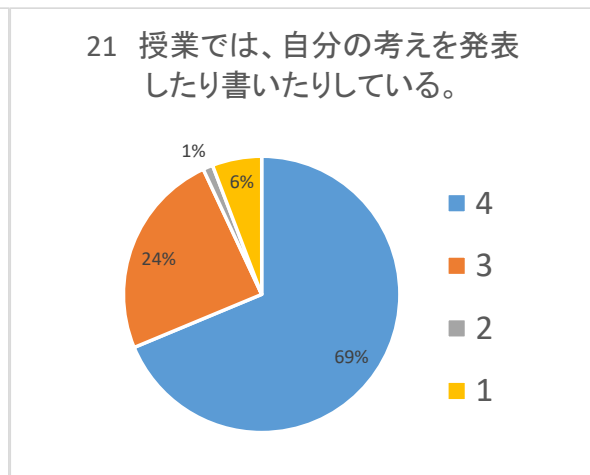
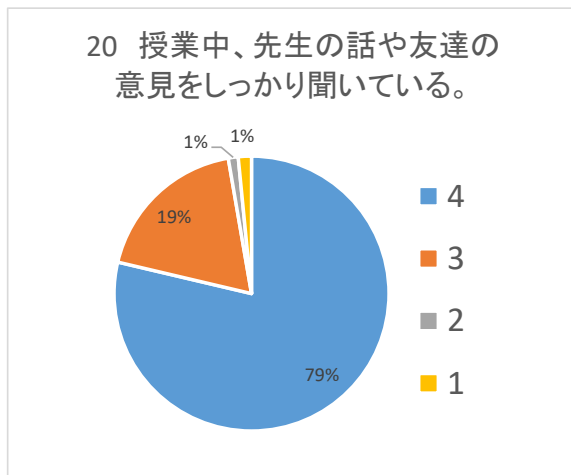
- ・ 礼羽小では昨年度から、児童が社会に出て問題に直面したときにも、他者と協働して問題解決ができる力を身に付けるため、算数を中心として「単元を貫く探究課題」を設定した授業に取り組んでいます。自らが見いだした課題や問題に主体的に取り組む、自分なりの方法で解決しようとする姿が、どの学年からも見られるようになってきました。児童一人一人に個に応じた指導・支援をするために、多くの学年でチームティーチングによる指導や少数指導で算数の授業を行っています。これからも、児童が「授業はよくわかる」「わかって楽しい」と、振り返えらえるよう私たち教職員も研修に励みます。

○ 項目19「学習の準備を整えて授業にのぞんでいる。」



・ 児童は項目18「授業はよくわかる。」と肯定評価をした割合は9割以上で、昨年度より増加しています。その反面、授業にのぞむ姿勢や準備では、9割以上の児童が肯定評価をしていますが、昨年度と比較すると減少傾向です。児童一人一人の学習の理解が高まるためにも、授業や学習にのぞむ姿勢や準備を今以上に意識する必要があると感じました。何事も準備が大切です。学校や家庭で学習する際、必要な学習用具を準備したり、机上を整理したりする重要性を指導していきます。

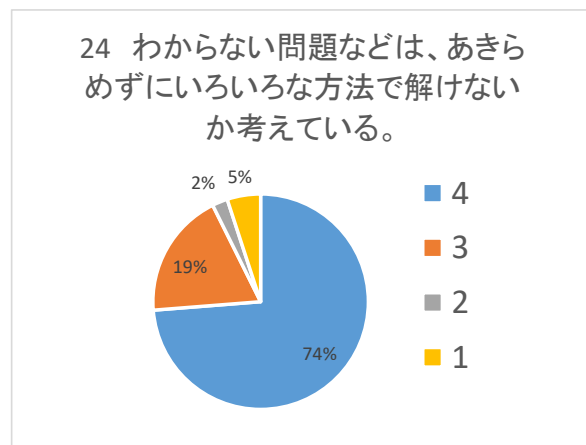
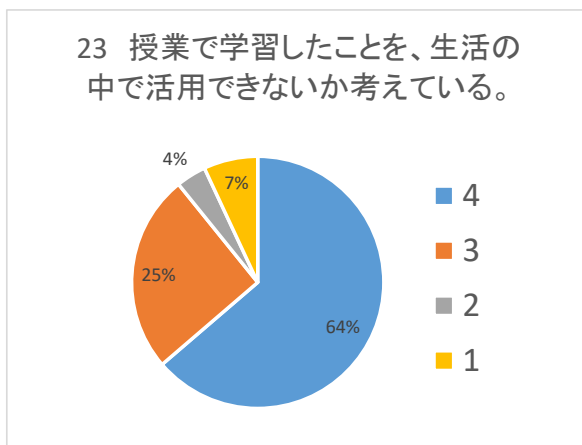
○ 項目20「授業中、先生の話や友達の意見をしっかり聞いている。」項目21「授業では、自分の考えを発表したり書いたりしている。」



・ 児童は、授業中に学ぼうとする意欲をもって主体的に取り組む様子がこの結果から見えます。特に、項目21「授業では、自分の考えを発表したり書いたりしている。」では、昨年度より4.8ポイントも上回り、9割を超えています。授業中に教師や友達の話を聞くことは、学習を理解するうえで基本的なことです。そして児童一人一人が自分なりの方法で問題を解決するだけでなく、その考えを説明したり、ノートに書いたりして相手に伝えようとする意識が高まってきていることは、私たち教職員も授業を実践して感じてきています。

○ 項目23「授業で学習したことを、生活の中で活用できないか考えている。」

○ 項目24「わからない問題などは、あきらめずにいろいろな方法で解けないか考えている。」



・ 本校では、授業で学んだことが実際の生活の中で活用できる知識や技能の習得や思考力・判断力・表現力の育成、問題に主体的に関わり、自ら解決しようとする学びに向かう力の育成のため、体験的な学習や学びに必然性を感じる学習過程に工夫をして授業を展開しています。どちらの項目も昨年度よりポイントが増加しています。本校が目指す児童像に着実に近づいていることが感じられる結果となりました。